

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 31 号
発行所： 内科 小児科 漢方 浮田医院
産科 婦人科
〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp
発行日：平成13年12月5日(水)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(31)

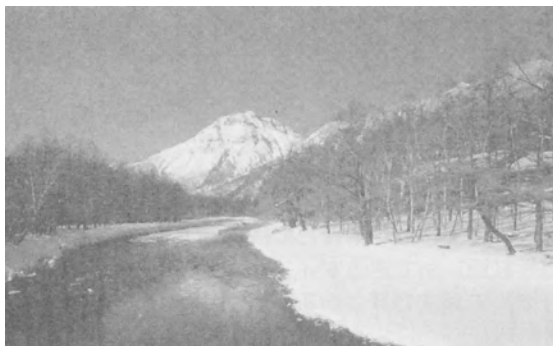
腎 I



紅葉の季節が終わり、雪がちらつく季節になりました。ここから見て南東の方向の山(名前は分かりませんが、その奥に朽木スキー場があります)が、いつ雪化粧になるか楽しみです。白い顔、黒い顔、灰色の顔、黄色の顔など色々な表情で毎朝、私を出迎え、鶯、雀などの鳥が、ある時は楽しそうに飛び、ある時は淋しそうに歩く姿を、時を忘れてしばしば見えています。

さて、十一月十五日に公開した携帯電話のホームページもパソコンのホームページと同様、好評で、たくさんメールが送られて来ています。特に、『Drウツキーの悩み相談』に人気があります。今後も、少しずつ内容を充実させていく予定です。今月は、腎についてお話しします。漢方の腎は、いわゆる脳、脊髄、内分泌器官、生殖器を含んだ概念で、腎臓、膀胱、生殖

器、腰、脚、脊髄、脳、耳、髪、発育、老化などの病氣と深い係わりがあります。腎は、水分の調整、成長、発育、生殖、老化、運動能力の発達や低下、病氣(特に癌)の発現に影響を及ぼ



焼岳と梓川(上高地の冬)

します。そして、肺、脾、肝、心の氣(エネルギー)や血(栄養)を調整するパワーの源です。では、実例を挙げましょう。十三歳女性、三歳から手足にしもやけ(既に、手足にしもやけ)があると訴え、十一月十五日に来院しました。顔色は薄黒く、眼窩に黒いシミが目立ち、両頬は少し赤く染まっていました。お腹はザラザラで、緊張して硬く、左右の肋骨下部、臍傍部に筋肉の緊張を、両側肩胛部に圧痛を認めました。脈は、細く、ゆっくりし、舌は乾き淡暗色、薄い白苔があり、中央は少し割れ、裏には太い血管が見られました。生理は、一年前に始まり、生理痛で苦しんでいました。そこで、手足の血管壁の緊張を緩め、胃の働きをよくする力のある当帰四逆加呉茱萸生薑湯と言う漢方薬を処方しました。一ヶ月後、生理痛、手足の冷えが減り、しもやけの部分がややよくなりました。三ヶ月後(二月)、手足に少ししもやけが残る程度にまで改善しました。一年後、足と手の指一本ずつにできたのみで、二年後、三年後もできず、四年目に廃棄し、その後は再発





していません。

五八歳男性、三五歳、胃潰瘍の手術の時輸血。四七歳の時、C型慢性肝炎を指摘され、インターフェéron、肝庇護剤、漢方薬などの治療を受けましたが、全身倦怠感、食欲不振、顔のむくみなどが改善せず、五三歳の時来院されました。顔は青黒く、むくみ、お腹は軟弱、脈は大で、力がなく、舌は淡紅色、薄い湿白苔、舌縁はむくみ、歯痕が見られた。そこで、清暑益氣湯、紅参、サフランを処方しました。二週間後、倦怠感が改善し始め、二ヶ月後、色々な症状も消えました。六ヶ月、肝機能検査の値は変わりませんでした。一年、二年と経過している間に、次第に値が下がり、四年後、ほとんど正常値になり、現在も漢方薬を継続しています。

六五歳女性、疲れると咽が痛くなり、風邪も長引きやすいと来院されました。三日前から咽が痛く、昨日より食欲がなくなりました。咳、痰、鼻づまりが始まり、今日は三八℃の発熱があると言ってお来院されました。顔色はやや青黒く、お腹は弾力性があり、左右の肋骨下に軽い抵抗を認め

ました。手はほてり、足は冷えていました。そこで、小柴胡湯、加桔梗石膏、葛根湯、駆風解毒湯を処方し、疲れ、冷え、食べ過ぎに注意するように言いました。翌日、咽の痛みは消え、食欲も戻り、三日間でよくなりました。その後、風邪に負けない体力をつけるため柴朴湯、麦門冬湯を二年続け、咽の症状はほとんどなくなりました。

これから、寒く、暗い、憂鬱な日々が続きますが、気持ちを保ち、絶えず切り換え、心のままにゆったりと、明るく、楽しい時を過ごしたいものです。

十二月一日、私の好きなハープストの一人、ポール・ハーストの演奏を聴くチャンスがありました。私は澄んだエネルギーを頂きました。音楽の力によりこころの掃除してもらえ方も多いのではないのでしょうか。次回は、更年期障害についてお話しします。

院長



しもやけ

寒冷刺激や精神的ストレスに敏感な学童や女性に多く、指が紫藍色に腫張するタイプと指に小紅斑・小丘疹(多型滲出性紅斑)ができるタイプがあります。血液検査(抗核抗体、膠質反応、蛋白分画)で異常の見つかる方もおられます。

当院は、漢方薬や漢方軟膏で治療を行なっています。



慢性肝炎

肝は内臓や筋肉の血流を調節し、睡眠時や安静時は血液を貯蔵しています。情緒を調節しながら、内臓、消化、卵巣(月経)の動きを調えています。この病気に罹ると、情緒が乱れ(イライラ、短期)、内臓の動きが異常になり、食欲低下、月経不順になります。漢方薬には、この乱れた肝の働きを取り戻す力があります。



風邪

病気が皮膚、筋肉、内臓のどこにあるかで漢方薬を選びます。特に、症状が大切です。寒気、熱感、関節痛、筋肉痛、汗のかき具合、頭痛、鼻水、鼻づまり、咳、痰、食欲、下痢、便秘・・・などを参考に漢方薬を決めます。



当院の漢方治療



剤型について

- ・ エキス漢方薬：**錠剤タイプ**の漢方薬と**顆粒タイプ**の漢方薬があります。
- ・ 漢方煎じ薬：**良質の生薬**を組み合わせた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿る場合、**冷蔵庫で保管**して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症について

すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱、・・・などすべての症状に応用します。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩こり、腰痛、便秘、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え症、低血圧、過敏性大腸、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、口内炎、口腔乾燥、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、带状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流・早産、妊娠中毒症、産後回復不良、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、うつ病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・・・・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬について

- ・ 軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・ 重症の病気、エキス漢方薬が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、子供の方、ご相談下さい(高齢の方もどうぞ)。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診断法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、心電図、骨量測定・・・・)などを利用して、**漢方薬**を決めます。

錠剤漢方薬

錠剤タイプの漢方薬も多数そろっています。お気軽にお申し出下さい。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫(ねんざ)・・・などの治療に利用しています。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に利用します。

外用薬・点眼薬・点鼻薬

外用薬(漢方薬、アトピー、痒[かゆ]み、非ステロイド、ステロイド、抗生物質、抗真菌、保湿、にきび)、点眼薬(抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤)、点鼻薬(抗アレルギー剤)、喘息吸入薬、口腔用(口内炎、抗真菌、うがい)、湿布薬(冷、温)、痔(軟膏、座薬)・・・・。

漢方入浴剤

美芳湯 [びほうとう]: 冷え症、湿疹、あせも、にきび
昇竜湯 [しょうりゅうとう]: 神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復
アトピーの方【漢方入浴剤】お作りします。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーの場合、**受診者名簿の処置の欄に、氏名を書き、診察券**を入れてください。

骨量測定

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。**骨破壊度の検査(尿)**も実施しています。

保険証変更の方

保険証の変更が決まった方、保険証の変更をされた方、できるだけ早く、受付に連絡して下さい。**保険が使えなくなります。**

駐車場

- ・ 北一駐車場 (40台)(日曜、祝祭日:終日閉鎖)
- 月・水・金:午前8:30～夕方診の終了
- 火・木・土:午前8:30～午前診の終了
- ・ 東・南駐車場 (11台) (終日駐車可能)

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	-
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	-	○	-	○	-	-

- ◆漢方外来(月～土)：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方・思春期の方(女性・男性、どなたでもお越しください)
- ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診・妊娠中の方(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◆助産婦相談(金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期 - 母親教室

日時：12月11日、2月5日、4月16日(火)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)
 場所：当院1階 申込み方法：申込ノートでご予約して下さい。
 皆様方のご希望に答えて、後期妊婦教室の回数は、できるだけ2回に致します。ティータイムもご期待下さい。

後期 - 母親教室

日時：12月18日、1月8日、1月22日、2月12日、26日(火)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)
 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

レンジムースのフッシュドノエルと言うクリスマスケーキで、可愛い飾りをたくさんつけてみました。パンは、マーフルフレッドで、健康にいいと話題のココアを生地に混ぜ込み、きれいな模様になりました。
 香と色のすてきなココアは、からだどころにまろやかになじみます。



クラミジア感染症

女性では、膣炎、子宮頸管炎、骨盤内感染症、不妊症(不妊症の方の3分の1)などを引き起こします。また、産道から赤ちゃんに感染して、結膜炎、肺炎を起こすこともあります(垂直感染25%)。妊娠可能女性の罹患率5%と言われています。

また、男性では尿道炎の原因になります。



分娩予約

当院で分娩を予定されておられる方、出来るだけ早く、受付で予約してください。ご予約には、**分娩予約カード**と**予約金5万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

立合い分娩

あらかじめ、**受付**にお申し込み下さい。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウッキー！ Dr. ウッキーの悩み相談、婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療のご案内などを掲載 (i-mode 対応)。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ、産婦人科のページ、当院の案内、当院への交通、周辺の観光地など掲載。ホームページの内容は、**待合でも閲覧**できます。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ、15～20分で対応します(無料)。
 日時：**毎週金曜日** 午前8:40～午後12:30。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：**毎週火曜日** 午前11:00～正午(有料)。

入院食(手作り)

心のこもった**手作り料理**です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

お屠蘇

延寿屠蘇散と言われ、その起源は遠く平安時代にさかのびます。皆様方のご健康を祈念する漢方薬酒です。どうぞご家庭でお召し上がり下さい。(無料)